

令和5年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(環境省R5-26)

別紙1

<p>施策名</p>	<p>目標5-7 国際観光資源の整備</p>				<p>担当部局名</p>	<p>自然環境局 総務課 国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課</p>	<p>作成責任者名 (※記入は任意)</p>	<p>松下雄介(総務課長) 番匠克二(国立公園課長) 水谷努(国立公園利用推進室長) 萩原辰男(自然環境整備課長)</p>				
<p>施策の概要</p>	<p>美しい国立公園等の自然を持続的に活用し観光資源の整備等により国内外の旅行者の地域での体験や滞在の満足度の向上を図るとともに、地域の経済社会を活性化させ、自然環境への保全へ再投資される好循環を生み出す。</p>				<p>政策体系上の位置付け</p>	<p>5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進</p>						
<p>達成すべき目標</p>	<p>2025年までに国内外の国立公園利用者数を新型コロナウイルスの影響前に回復させ、平成28年3月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げる2030年訪日外国人旅行者数6,000万人等の目標や、2023年3月に策定された「観光立国推進基本計画」に掲げる2025年までに訪日外国人利用者数を2019年水準超えにする目標と「観光先進国」の実現に貢献するとともに、国立公園の保護と利用の好循環を実現する。</p>				<p>目標設定の考え方・根拠</p>	<p>・明日の日本を支える観光ビジョン ・観光立国推進基本計画 ・国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について(観光立国推進関係会議決定) ・自然公園法</p>	<p>政策評価実施予定時期</p>	<p>令和6年8月</p>				
<p>測定指標</p>	<p>基準値</p>		<p>目標値</p>		<p>年度ごとの目標値 年度ごとの実績値</p>						<p>測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠</p>	
<p>1 国立公園訪日外国人利用者数</p>	<p>490万人</p>	<p>基準年度 H27年度</p>	<p>667万人</p>	<p>目標年度 R7年度</p>	<p>R2年度 -</p>	<p>R3年度 -</p>	<p>R4年度 -</p>	<p>R5年度 -</p>	<p>R6年度 -</p>	<p>R7年度 667万人</p>	<p>R8年度 -</p>	<p>・政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき実施している「国立公園満喫プロジェクト」において、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ国内外利用者をコロナ影響前の水準に回復することを新たな目標として設定しているため。なお、新型コロナウイルスの影響により外国人観光客の入国について現時点で見通せず、現時点で今年度の目標値は設定不能。</p>
<p>2 滞在環境の上質化に取り組んだ国立公園の利用拠点数(累積)</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>35拠点</p>	<p>R7年度</p>	<p>10拠点</p>	<p>20拠点</p>	<p>25拠点</p>	<p>30拠点</p>	<p>-</p>	<p>35拠点</p>	<p>-</p>	<p>・利用拠点計画に基づき、滞在環境の上質化に向けて、民間活力導入を前提とした廃屋撤去、インバウンド機能向上、文化的まちなみ改善の事業を実施することにより、国立公園利用者の体験滞在の満足度向上やリピーター増加に繋がることから、目標値として設定した。</p>
<p>3 利用施設の多言語化</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>40施設</p>	<p>R5年度</p>	<p>40施設</p>	<p>40施設</p>	<p>40施設</p>	<p>40施設</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>・国立公園・国定公園等の自然体験拠点における案内板や、ビジターセンター等の施設を中心として、スマホアプリ、QRコード等のICTを駆使し、現地の自然・文化・歴史がつながる奥深い多言語解説を面的に充実させる目標を定めたもの。令和6年度以降の目標値は令和5年度実績を見て検討する。</p>
<p>4 ビジターセンター等機能強化</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>60施設</p>	<p>R5年度</p>	<p>60施設</p>	<p>60施設</p>	<p>60施設</p>	<p>60施設</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>・国立公園の利用拠点であるビジターセンター等の情報提供機能を強化することにより、体験滞在の満足度向上やリピーターの増加等につながるため、機能強化の実施施設数を目標として定める。 ・自然を満喫できるアクティビティ等の情報を一元的に多言語で提供する機器等の整備、VR等のデジタル技術を活用した国立公園の理解を深める情報提供施設等の整備のいずれかを実施した場合には、1施設としてカウントする。令和6年度以降の目標値は令和5年度実績を見て検討する。</p>
<p>5 国立公園一括情報サイトの訪問回数等(接触媒体者数)</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>117万</p>	<p>R7年度</p>	<p>117万</p>	<p>117万</p>	<p>117万</p>	<p>117万</p>	<p>117万</p>	<p>117万</p>	<p>-</p>	<p>・訪日外国人に対して、効果的・効率的な国立公園の情報発信を行うため、JNTOグローバルサイト内に国立公園の一括情報サイトを構築(H31.2)し、当該サイトを通じて情報発信を行うとともに、各種海外メディア等により国立公園の認知向上に寄与する記事配信等を行っており、これらの情報発信に対するユーザーの閲覧状況を計る目標を定めたもの。</p>
<p>6 国立公園における自然体験コンテンツガイドラインを満たす自然体験コンテンツ数</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>600</p>	<p>R5年度</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>500</p>	<p>600</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>自然体験活動促進計画、インタープリテーション計画等の計画に基づき自然体験コンテンツの整備が進むことにより、滞在の満足度向上やリピーターの増加等につながるため、国立公園における自然体験コンテンツガイドラインのフェーズ1を満たす自然体験コンテンツ数を目標として定める。</p>

達成手段 (開始年度)	予算額計(執行額) (百万円)			当初予算額 (百万円)	関連する 指標	達成手段の概要等	行政事業レビュー 事業番号
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			
(1) 国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業 (令和元年度)	2,360 (1,883)	1,926 (1,627)	2,044 (1,623)	1,680	1.2	<p>&lt;達成手段の概要&gt; 利用拠点の関係者で作成する利用拠点計画に基づき、滞在環境の上質化に向けて、民間活力導入を前提とした廃屋撤去、インバウンド機能向上、文化的まちなみ改善等の事業を関係者の役割分担のもとで一体的に実施すること等により、訪日外国人をはじめとする国立公園利用者の体験滞在の満足度向上やリピーター増加につなげる。</p> <p>&lt;達成手段の目標&gt; 滞在環境の上質化に取り組んだ国立公園の利用拠点数を目標として定める。</p> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt; 本事業により国立公園利用拠点の滞在環境の上質化を進め、R3年度の目標は達成した。R4年度については、事業規模を踏まえた目標を設定し取組を進める。</p>	0256
(2) 国立公園等多言語解説等整備事業(旧)国立公園多言語解説等整備事業 (平成30年度)	828 (609)	1107 (964)	227 (205)	400	1.3	<p>&lt;達成手段の概要&gt; 国立公園・国定公園等の自然体験拠点における案内板や、ビジターセンターやその周辺の園地・歩道を中心に自然資源等の解説の多言語化対応を一体的に行うエリアにおいて、官民連携の地域協議会等で磨き上げたコンテンツ等も含め、ICT技術を活用した多様な媒体による多言語解説等整備や、WEBサイト、サイネージ、セルフガイドアプリ等による総合的な魅力発信の取り組みを有機的に繋げて進めることで、より効果的に訪日外国人にとって魅力ある地域づくりを進める。</p> <p>&lt;達成手段の目標&gt; 多言語化した利用施設数を目標として定める。</p> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt; 本事業により国立公園等における利用施設の多言語化を進め、R3年度の目標は達成した。R4年度についても、R3年度までと同程度の目標で取組を進める。</p>	0297
(4) 国立公園利用促進事業 (令和元年度)	639 (534)	170 (36)	117 (197)	195	1.4	<p>&lt;達成手段の概要&gt; 国立公園のビジターセンターにおいて、アクティビティ等の情報を多言語で提供する機器及び最新のデジタル技術を活用した疑似体験プログラム等の導入を行う。</p> <p>&lt;達成手段の目標&gt; 自然を満喫できるアクティビティ等の情報を一元的に多言語で提供する機器等の整備、VR等のデジタル技術を活用した国立公園の理解を深める情報提供施設等の整備件数を目標として定める。</p> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt; 国立公園の利用拠点であるビジターセンター等の情報提供機能を強化することにより、国立公園の自然の魅力やアクティビティ情報等が訪日外国人等に分かりやすく伝わり、滞在時間の延長や満足度の向上、リピーターの増加等につながる。</p>	0259
(5) 国立公園利活用促進円滑化事業 (令和元年度)	110 (110)	410 (409)	160 (132)	160	1.5	<p>&lt;達成手段の概要&gt; 関係省庁等との連携の下、JNTOグローバルサイト内に構築した国立公園サイトのコンテンツを拡充するとともに、このサイトを活用したデジタルマーケティング等を通して、戦略的に日本の国立公園の魅力在海外に情報発信する。</p> <p>&lt;達成手段の目標&gt; 国立公園一括情報サイトを中心とした情報発信等により国立公園の認知向上・誘客促進につなげる。</p> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt; 国立公園一括情報サイトを中心としたデジタルマーケティング等を通して、戦略的なプロモーションノ実施に寄与する。</p>	0260
(6) 京都御苑訪日外国人観光促進事業(令和2年度)	55 (55)	0	0	0	1	<p>&lt;達成手段の概要&gt; 京都御苑における外国人利用者の満足度の向上、訪日外国人の誘客や滞在時間の増加へ寄与するため、ICTを活用した苑内各所にある歴史的遺構の解説、茶室など由緒ある建築物のリノベーションや体験型アクティビティや庭園ガイドの整備、広大な苑内において容易に情報入手を可能とするためのデジタルサイネージの整備等の取組を進める。</p> <p>&lt;達成手段の目標&gt; 訪日外国人利用者数を目標として定める。</p> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt; 令和2年度中に主たる調査設計は終了したものの、有識者との調整に不測の日数を要したなどにより、令和3年度に繰越し整備を行った。令和4年度から改修・整備した施設等の供用を開始しており、訪日外国人利用者数の増加に寄与する。</p>	0268

(7) 国立公園等の自然を活用した滞在型観光コンテンツ創出事業(令和3年度)	-	891 (711)	220 (193)	100	1, 6	<達成手段の概要> 日本の国立公園等は、自然景観だけではなく、その自然の恵みを活かした地域独自の暮らしや文化・歴史も重要な魅力の一つで、外国人利用者に対して提供できるコンテンツの磨き上げや、地域のテーマやストーリーも踏まえた複数のコンテンツを効果的に利用者への提供、また、地域においてはコンテンツを提供できる体制・人材育成・計画作り・環境整備等が必要であり、今回は計画作りそれらの取組を実施する。 <達成手段の目標> 取り組んだ計画作りの件数を目標として定める。 <施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 当事業を実施することにより、訪日外国人利用者数の増加に寄与する。	0283
(8) 京都御苑魅力向上資源アーカイブ事業(令和3年度)	-	20 (0)	15 (18)	10	1	<達成手段の概要> 京都御苑における外国人利用者の満足度の向上、訪日外国人の誘客や滞在時間の増加へ寄与するため、京都御苑の歴史や関連文化・自然などに関するアーカイブを構築する。関連する組織や機関と連携・運営体制を構築しながら、アーカイブデータのデジタル化を図り、アーカイブを活用した体験型アクティビティやガイドの整備・充実等の取組を進める。 <達成手段の目標> 訪日外国人利用者数を目標として定める。 <施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容> 当事業を実施することにより、訪日外国人利用者数の増加に寄与する。	0282
施策の予算額・執行額	3992 (3191)	4,524 (3,747)	2,783 (2,249)	2,545	施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	-	